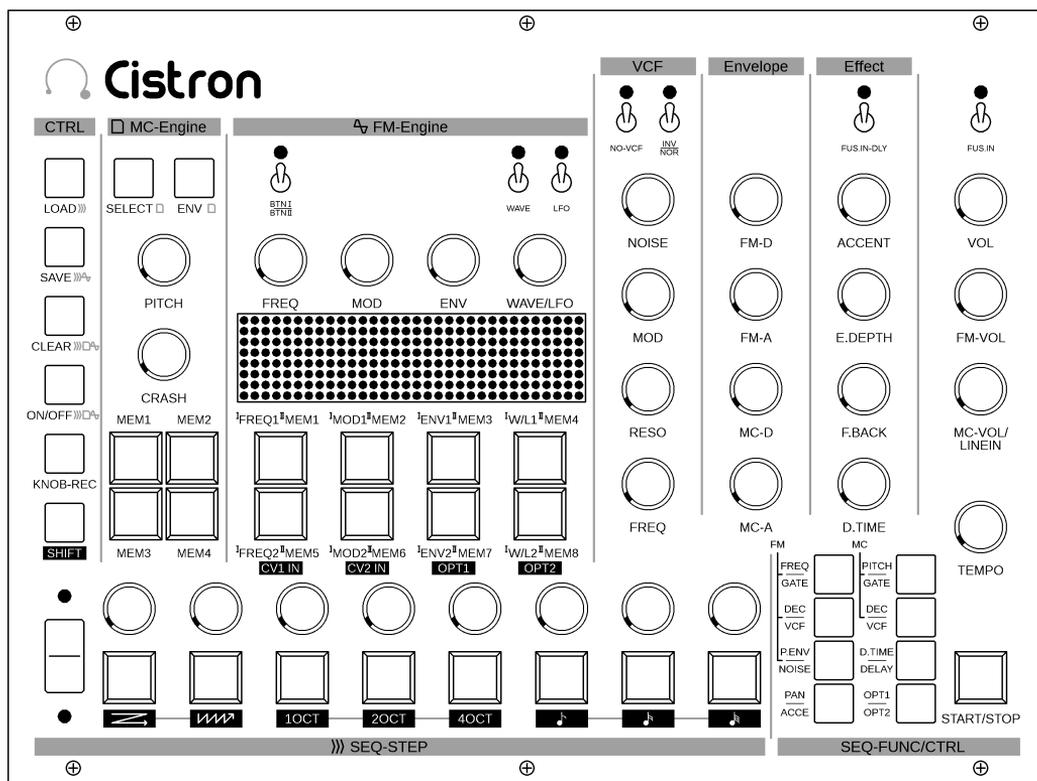


# REON Cistron

## チュートリアル



ファームウェア Ver2.10  
2021/7 Copyright @ REON Corp., Ltd.

# 1. REON オリジナル FM 音源を鳴らしてみよう

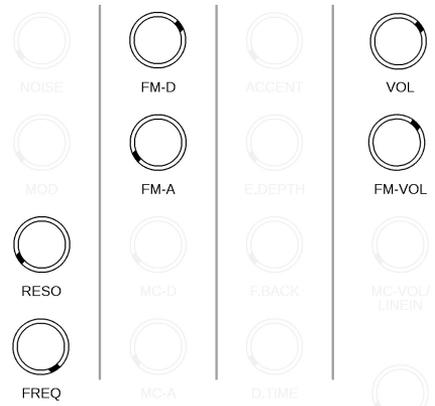
## (1) つまみの基本設定

はじめに基本的な音作りをするため、右図のようにつまみの位置を調整しておきます。

・VCF のフィルタは最大に開き、レゾナンスは最小にします。

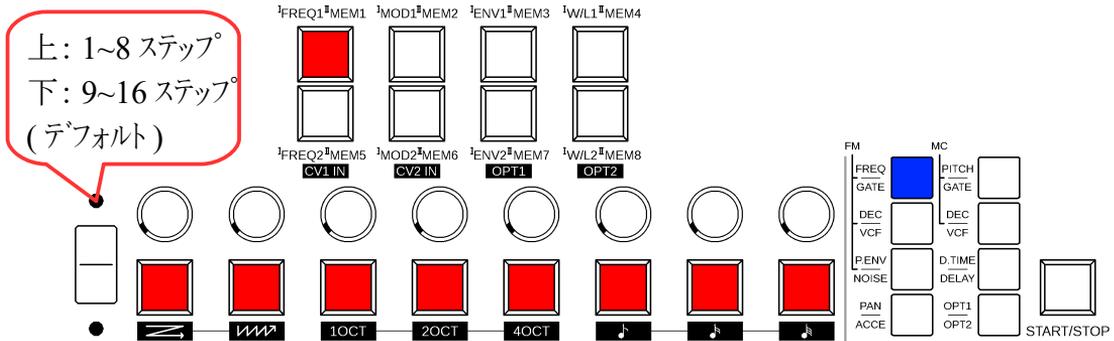
・Envelope の FM アタックタイムは0にし、FM ディケイタイムはお好みの位置に設定します。

・FM のボリュームとマスターボリュームを適当な音量になるように設定します。



## (2) シーケンサの FM 編集モード

左上の FUNC ボタン(FM-FREQ/GATE)を選択することで、FM 音源を編集するモードに入ります。電源投入時、各ステップには FM の MEM1 (赤色)の音が全ステップに入力されています。なお、ステップのつまみとボタンは8個ですがステップ数の最大値は16であり、左側のロッカースイッチを上にも倒すと1~8ステップ、下にも倒すと9~16ステップを編集することができます。START/STOP ボタンを押すとシーケンサがスタートします。

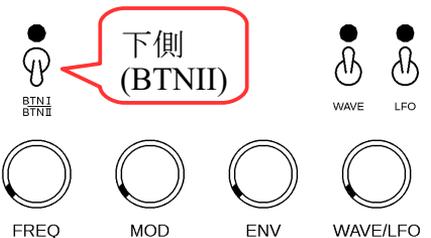


## (3) FM 音源による音づくり

BTNI/II 設定スイッチは下側に設定しておきます (BTNII モード)。MEM1 ボタン (赤色) を押すと点滅し、MEM1 の音色を編集することができます。

FREQ, MOD, ENV, WAVE/LFO の各つまみを回すと、音色が変化します。なお、WAVE/LFO つまみは、上

部の WAVE スイッチと LFO スイッチの組み合わせによって、どちら(または両方)の役割を持つか選択されます。シーケンサが停止した状態で MEM1 ボタンを押すと、音を再生し



ます。シーケンサを動かしながら編集することで、音を鳴らしながら音作りができます。さらに、ステップごとのつまみを回すと、ステップごとの FREQ を変化させることができます。

#### (4)保存とステップへの割り当て

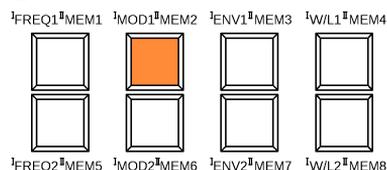
お気に入りの音ができたら、SAVE ボタンを押しながら MEM1 ボタンを押し、音色を保存しておきます。続いて、MEM2 ボタン(橙色)を押すと点滅し、MEM2 の音色を編集することができます。(3)と同様に音を編集し、保存しておきます。MEM2 ボタンが点滅した状態でステップごとのボタンを一度押すと選ばれたステップの発音が OFF となり、もう一度押すと MEM2 がステップに割り当てられます。このようにして、ステップごとに MEM1 から MEM8 の8種類の音をステップに割り当てていきます。

#### 注:MEM 番号を変えた際の動作(v2.00 で仕様変更)

シーケンサが動いている間は、MEM 番号を変えても編集した音色が維持されます(停止すると元の音色に戻ります)。これによって、SAVE 機能を使わずに演奏中にリアルタイムに音色を編集・切替することができます。一方で、シーケンサ停止中の SAVE は、MEM 番号を変える前に実施してください。SAVE しないで MEM 番号を変えると前回 SAVE した音色に戻ります。

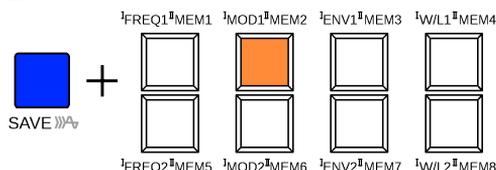
#### 音作り・保存の流れ

##### ① MEM 番号の選択



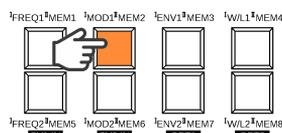
##### ②音作り

##### ③保存

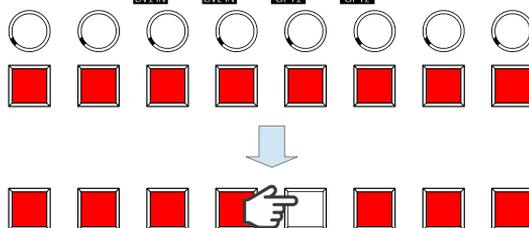


#### ステップへの割り当て

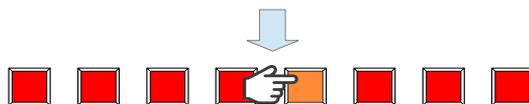
##### ① MEM 番号の選択



##### ②割り当て済みのステップボタンを押す ⇒ 割り当て解除



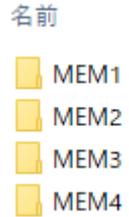
##### ③未割り当てのステップボタンを押す ⇒ MEM 番号を割り当て



## 2. メモリカード(MC)に保存した音を鳴らしてみよう

### (1)事前準備

REON が提供するメモリカード以外を使用する場合、事前準備が必要です。REON 提供のメモリカードを使用する場合は、このステップを飛ばしてください。まず PC 上でメモリカードを開き、フォーマット形式が **FAT32** であることを確認します。異なるフォーマットである場合、再フォーマットが必要です。正しければ、メモリカード内に右図のように **MEM1, MEM2, MEM3, MEM4** という名前のフォルダを作成します。



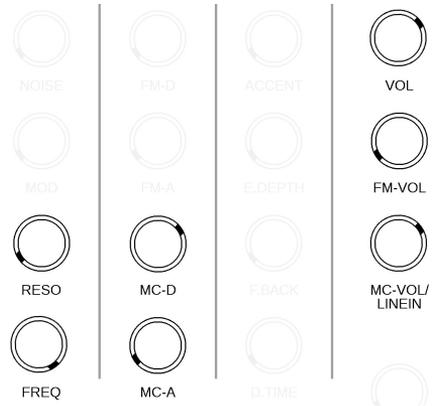
### (2)WAV ファイルの保存

PC 上でメモリカードを開き、4つのフォルダのいずれかに **Cistron** で鳴らしたい音を保存します。なお、対応しているのは **WAV** 形式のファイルで、**8bit** または **16bit**、**モノラル** または **ステレオ**、**44.1kHz** または **48kHz** 形式です。**24bit** 等の形式には対応していませんのでご注意ください。保存できたら、**Cistron** の裏面端子に挿入します。

### (3)つまみの基本設定

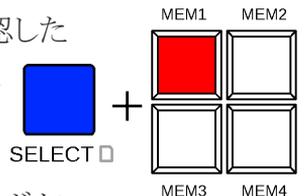
はじめに基本的な音作りをするため、右図のようにつまみの位置を調整しておきます。

- ・VCF のフィルタは最大に開き、レゾナンスは最小にします。
- ・Envelope の MC アタックタイムは0にし、MC ディケイタイムはお好みの位置に設定します。
- ・MC のボリュームとマスターボリュームを適当な音量になるように設定します。また、FM のボリュームは0にしておきます。



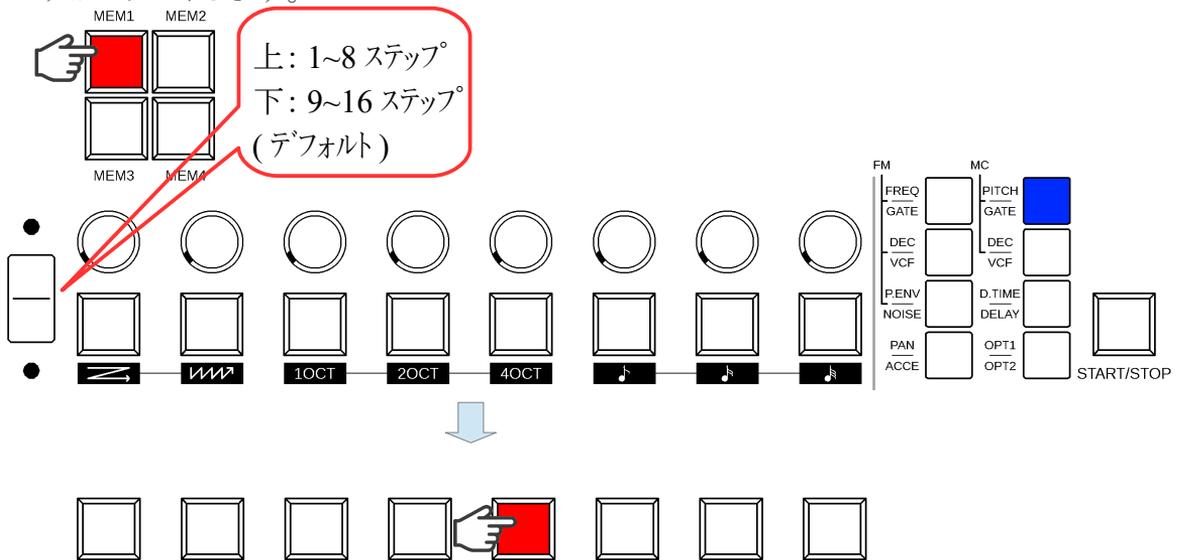
### (4)メモリカード上の音色の選択

MC(メモリカード)音源の **MEM1~4** の4つのボタンが、PC 上で確認した4つのフォルダに対応します。各フォルダ内の **WAV** ファイルを選択するには、**SELECT** ボタンを押しながら **MEM1~4** のいずれかのボタンを少し長めに押します。すると、フォルダ内で **WAV** ファイルが切り替わり、ファイル名と音を確認することができます。さらに、**ENV** ボタンを押しながら **MEM1~4** のボタンを押すと、エンベロープの **ON/OFF** を切り替えることができます。エンベロープを **OFF** にすると、ロングトーンの再生が可能になります。



### (5)シーケンサの MC 編集モード

右上の FUNC ボタン(MC-PITCH/GATE)を選択することで、MC(メモ리카ード)音源を編集するモードに入ります。電源投入時、MCのパターンは入力されていないので、入力します。まず選択した MEM1~4 のいずれかのボタンを押し、点滅させます。次に、再生させたいステップのボタンを押し、パターンを入力します。ステップのつまみとボタンは8個ですがステップ数の最大値は16であり、左側のロッカースイッチを上倒すと1~8ステップ、下倒すと9~16ステップを編集することができます。START/STOP ボタンを押すとシーケンサがスタートします。



### (6)MC 音源による音づくり

PITCH のつまみを回すと、MC 音源のピッチ(および再生速度)が変化し、CRASH のつまみを回すと、ビットクラッシュの強さが変化(左端はビットクラッシュなし)します。また、ステップごとのつまみを回すと、ステップごとの PITCH を変化させることができます。



PITCH



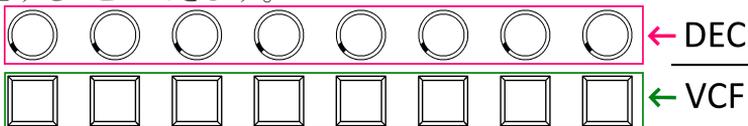
CRASH

### 3. シーケンサのさまざまな機能を試してみましょう

#### (1) FUNC ボタン

FUNC ボタンには、ステップごとのつまみとボタンを使って設定できる様々なパラメータが用意されています。それぞれの FUNC ボタンのそばには、上側と下側に2つのパラメータが印刷されています。上側のパラメータはステップごとのつまみに割り当てられるパラメータを表し、下側のパラメータはステップごとのボタンに割り当てられるパラメータを表しています。例えば、右図の FUNC ボタンでは、つまみを使って FM のディケイタイムを調整し、ボタンを使って VCF の ON/OFF を設定することができます。

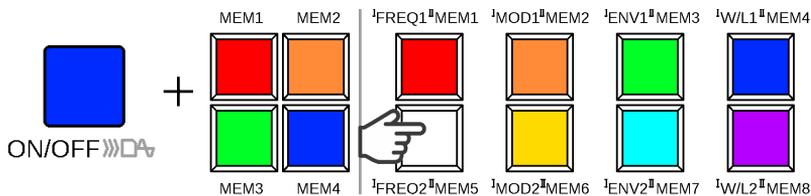
FM		MC	
FREQ	<input type="text"/>	PITCH	<input type="text"/>
GATE	<input type="text"/>	GATE	<input type="text"/>
DEC	<input type="text"/>	DEC	<input type="text"/>
VCF	<input type="text"/>	VCF	<input type="text"/>
P.ENV	<input type="text"/>	D.TIME	<input type="text"/>
NOISE	<input type="text"/>	DELAY	<input type="text"/>
PAN	<input type="text"/>	OPT1	<input type="text"/>
ACCE	<input type="text"/>	OPT2	<input type="text"/>



#### (2) 音色ごとの発音の ON/OFF (ミュート) 機能・ステップ数設定機能

ON/OFF ボタンを押しながら、FM の MEM1~8 ボタンまたは MC の MEM1~4 ボタンを押すことで、音色ごとに発音するかどうかを設定できます。ON/OFF ボタンを押したときに点灯している音色のみが発音されます。この機能を駆使して、音を少しずつ加えたり減らしたりして演奏することが可能です。さらに、ON/OFF ボタンを押しながらステップボタンを押すことで、ステップ数を設定することができます。例えば、ロッカースイッチを下に倒した状態(9~16ステップ設定)で左から3番目のステップボタンを押すと、ステップ数は11になります。

##### 発音の ON/OFF



##### ステップ数設定

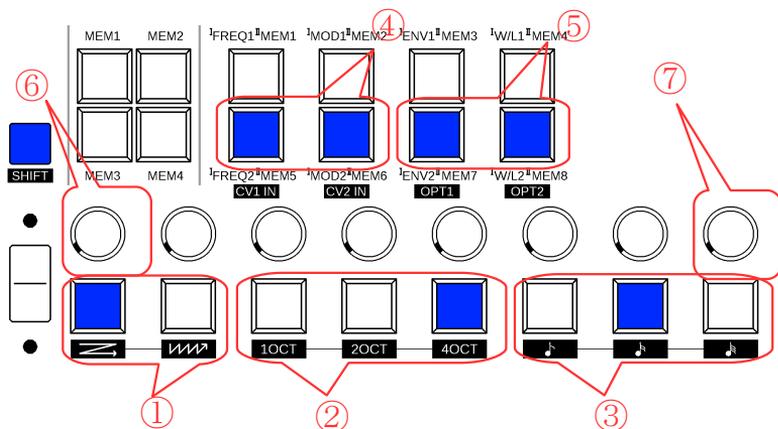


### (3)SHIFT ボタンによる詳細設定

白抜き文字の **SHIFT** ボタンを押しながら、白抜き文字の他の各ボタンを押すことで、下記のようなさまざまな詳細設定ができます。また、**SHIFT** ボタンを押しながらステップつまみを回すことで、下記のパラメータを調整することができます。一回の **SHIFT** ボタンの操作につき調整できるステップつまみのパラメータは1種類のみです。詳しくは別途取扱説明書をご覧ください。

#### 白抜き文字ボタン

- ①シーケンス進行方向
- ② FM 音源音域設定
- ③クロックディバイダー
- ④ CV 入力端子割り当て設定
- ⑤オプション FUNC 割り当て設定



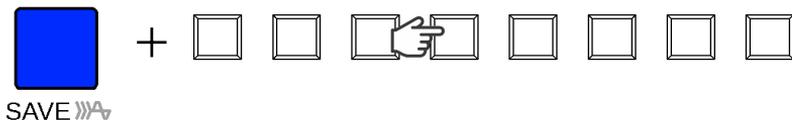
#### ステップつまみ

- ⑥シャッフルレベル調整
- ⑦テンポの微調整

### (4)シーケンスパターンの保存と読み出し

各 **FUNC** ボタンにより設定したつまみの値・ボタンの **ON/OFF**、および音色ごとの発音の **ON/OFF**・ステップ数、**SHIFT** ボタン設定は、最大8パターンまで保存、読み出しができます。保存する場合は、**SAVE** ボタンを押しながら、8個のステップボタンのいずれかを押します。するとパターンが選択したボタンの位置に保存され、ボタンが点灯します(保存済み)。読み出す場合は、**LOAD** ボタンを押しながら、読み出すステップボタンを押します。読み出しは演奏中も可能です。

#### シーケンスパターン保存



#### シーケンスパターン読み出し

